

## 施工状況等報告書

2020 年 1 月 31 日

長野県知事 阿部 守一 様

佐久市長 柳田 清二 様  
小諸市長 小泉 俊博 様  
御代田町長 小園 拓志 様  
軽井沢町長 藤巻 進 様

所在地 長野県佐久市中込 3056 番地佐久市役所内  
名称 佐久市・北佐久郡環境施設組合  
組合長 柳田 清二

長野県環境影響評価条例第 32 条第 1 項の規定により、下記のとおり送付します

### 記

対象事業の名称	新クリーンセンター建設事業
報告対象期間	2019 年 10 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日まで
環境の保全のための措置	詳細は別紙添付資料のとおり
対象事業の実施状況	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 <b>【施設本体建設工事】</b> 事務所棟の屋根、外壁工事、工場棟の躯体、外壁、設備工事、プラント機械の設置工事を行っています。

(備考) 必要に応じ、環境の保全のための措置の状況又は対象事業の実施状況に係る図面又は写真を添付すること。

# 施工状況等報告書添付資料「環境保全措置実施状況一覧表」

期間: 2019年10月1日～2019年12月31日


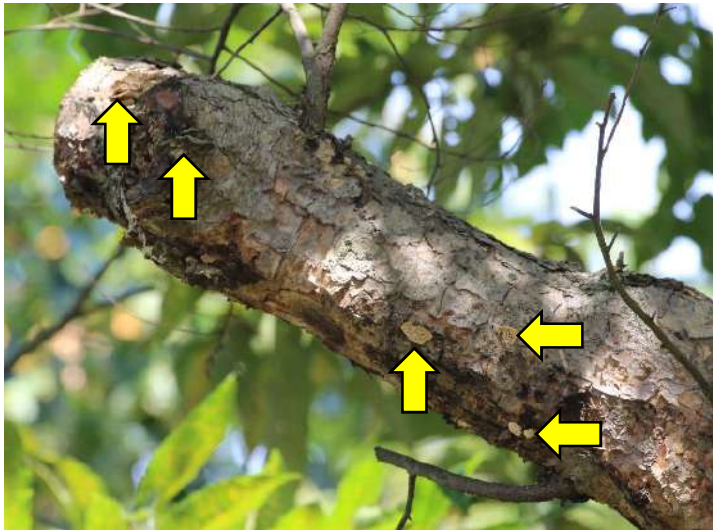

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
植 物	ヤ エ ガ ワ カ ン バ	成 木 の 移 植	10月7日に平成27年4月18日移植個体の生育確認（樹木活力度調査）及び管理 一部の枝が枯れ、葉の量が少ない。他の枝は十分に展葉しているが、一部の枝に枯れた小枝が確認された。黄葉が始まる。枯枝No. 4はキノコがやや生長している。	写真ヤエ-1, 2
			11月5日に平成27年4月18日移植個体の生育確認（樹木活力度調査）及び管理 黄葉と落葉が進む。枯枝No. 4はキノコが生長している。No. 5の枝のキノコに生長はあまり見られない。No. 6の枝について、東側に発生したキノコ（平成30年9月発生）は、落葉によりこれまで見えなかった新たなキノコが確認された。	写真ヤエ-3, 4, 5, 6
		種 子 の 保 存 及 び 播 種 、 育 苗	10月7日に播種個体の生育確認及び管理 1) 平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理 平成30年3月8日に事業実施区域内に移植（植樹）した幼木3個体は樹高112.0cm～178.0cmで伸長がさらに進み、個体No. ⑤はネット高を超えている。根元直径も13mm～21mmで太くなり、枝張り是一部ネットからはみ出す勢いである。個体No. ⑤は葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 2) 平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理 個体No. ④ 樹高30.0cm、根元直径11mm。樹高は変わらないが根元直径が太くなっている。黄葉が始まり、冬芽を形成している。 3) 平成28年4月18日播種個体の生育確認及び管理 個体No. ① 樹高44.0cm、根元直径12mm。樹高、根元直径に変化はない。黄葉が始まり、冬芽を形成している。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 4) 平成29年4月21日播種個体の生育確認及び管理 個体No. ① 樹高38.0cm、根元直径11mm。根元直径が太くなった。黄葉が始まり、冬芽を形成している。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 5) 平成30年4月10日播種個体の生育確認及び管理 ポット30個へ植え替えた幼木150本は樹高12.0cm～27.0cm。順調に生長し、樹高も伸びている。黄葉が始まり、冬芽を形成している。	写真ヤエ-7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14
			11月5日に播種個体の生育確認及び管理 1) 平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理 平成30年3月8日に事業実施区域内に移植（植樹）した幼木3個体は樹高116.0cm～178.0cm、根本直径13mm～21mmで、個体No. ③の樹高がやや伸びている。それぞれに落葉が進み、冬芽を形成している。個体No. ⑤は葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 2) 平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理 個体No. ④ 樹高30.0cm、根元直径11mm。樹高と根元直径に変化は無い。落葉し、冬芽あり。 3) 平成28年4月18日播種個体の生育確認及び管理 個体No. ① 樹高42.0cm、根元直径12mm。樹高は落葉のため2cm低くなったが、根元直径に変化はない。ほぼ落葉し、冬芽あり。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 4) 平成29年4月21日播種個体の生育確認及び管理 個体No. ① 樹高38.0cm、根元直径12mm。根元直径が太くなった。ほぼ落葉し、冬芽あり。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 5) 平成30年4月10日播種個体の生育確認及び管理 ポット30個へ植え替えた幼木150本は樹高14.0cm～27.0cm。落葉し、冬芽あり。	写真ヤエ-15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
植物	オニヒョウタンボク	種子の保存及び播種、育苗	<p>10月7日に播種個体の育苗状況確認</p> <p>1) 平成29年6月29日播種個体の育苗状況確認 No. ③は樹高6.0cm、根元直径3mmで変化はない。</p> <p>2) 平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認（発根促進剤使用） No. ⑰は樹高20.5cm、根元直径6mm。落葉し、冬芽を形成している。</p> <p>3) 平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認（発根促進剤使用） 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗（駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土＋腐葉土で育苗）の18本中3本が生存。うち2本に葉があり、2本が冬芽を形成している。 挿し木から発根後まで日向で育苗（駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土＋腐葉土で育苗）の18本全てに冬芽の形成も見られず枯死したと思われる。日照条件の違いにより活着しなかったことが考えられる。</p>	写真オニ-1, 2, 3, 4
			<p>11月5日に播種個体の育苗状況確認</p> <p>1) 平成29年6月29日播種個体の育苗状況確認 No. ③は樹高6.0cm、根元直径3mmで変化はない。冬芽あり。</p> <p>2) 平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認（発根促進剤使用） No. ⑰は樹高20.5cm、根元直径6mmで変化は無い。落葉し、冬芽あり。</p> <p>3) 平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認（発根促進剤使用） 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗（駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土＋腐葉土で育苗）の18本中、生存していた3本は落葉。うち2本には冬芽があるが、1本は冬芽が無く枯死した可能性あり。 挿し木から発根後まで日向で育苗（駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土＋腐葉土で育苗）の18本全てに冬芽の形成も見られず枯死したと思われる。日照条件の違いにより活着しなかったことが考えられる。</p>	写真オニ-5, 6, 7, 8
	ツルナキケマン	粉じんの防止	<p>10月21日にナガミノツルキケマン移植先の生育状況確認</p> <p>台風19号の影響により、移植地に少量の土砂が流入したが、ナガミノツルキケマンへの影響は軽微と思われる。</p> <p>移植した個体は旺盛に開花し、種子も多数見られる。粉じん等の堆積は見られない。</p>	写真ナガ-1, 2, 3
	キクタニギク	粉じんの防止	<p>10月21日に生育個体の生育状況調査</p> <p>対象事業実施区域の直近（対象事業実施区域の北側に面した駐車場脇）に新たに1個体の生育を確認した。旺盛に開花し、生育状況に異常は無く、粉じん等の堆積も見られない。また、これまで事後調査を行っている対象事業実施区域からやや離れた場所でも約25個体が旺盛に開花しており、生育状況に異常は無く、粉じん等の堆積も見られない。</p>	写真キク-1, 2, 3, 4

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
水 象	地 下 水 位	地 下 水 位 モ ニ タ リ ン グ	10月30日に地下水位のモニタリングを実施。 調査地点は対象事業実施区域周辺の3地点とした。 各地点の結果は昨年度と概ね同程度であり、地下水位の低下が見られないことから、地下水利用や地盤沈下への影響はほとんどないと考えられるため、新たな環境保全措置は実施しなかった。 ・調査地点No. 1：790.85m(昨年度同月：788.15m) ・調査地点No. 2：743.65m(昨年度同月：743.42m) ・調査地点No. 3：725.20m(昨年度同月：724.80m)	写真チカ-1
			11月29日に地下水位のモニタリングを実施。 調査地点は対象事業実施区域周辺の3地点とした。 各地点の結果は昨年度と同程度であり、地下水位の低下が見られないことから、地下水利用や地盤沈下への影響はほとんどないと考えられるため、新たな環境保全措置は実施しなかった。 ・調査地点No. 1：789.01m(昨年度同月：790.14m) ・調査地点No. 2：743.43m(昨年度同月：743.45m) ・調査地点No. 3：724.66m(昨年度同月：724.70m)	写真チカ-2
			12月26日に地下水位のモニタリングを実施。 調査地点は対象事業実施区域周辺の3地点とした。 各地点の結果は昨年度と同程度であり、地下水位の低下が見られないことから、地下水利用や地盤沈下への影響はほとんどないと考えられるため、新たな環境保全措置は実施しなかった。 ・調査地点No. 1：788.82m(昨年度同月：789.91m) ・調査地点No. 2：743.45m(昨年度同月：743.49m) ・調査地点No. 3：724.45m(昨年度同月：724.65m)	写真チカ-3

## - 公表・公開情報 -

発行	環境保全措置・事後調査実施状況（概要版）10月号
内容	1 クライロベッコウの生息調査について 2 ベニモンマダラの生息調査について 3 希少猛禽類（ハチクマ・ハイタカ）の定点観察・営巣確認について
方法	ホームページに掲載

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-1
	撮影日	R1.10.7
	<p>平成27年4月18日移植個体の生育確認(樹木活力度調査)及び管理</p> <p>移植木の全景 一番下の枝が枯れ、葉の量が少ない。他の枝は十分に展葉しているが、一部の枝に枯れた小枝が確認された。 黄葉が始まる。</p>	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-2
	撮影日	R1.10.7
	<p>平成27年4月18日移植個体の生育確認(樹木活力度調査)及び管理</p> <p>平成29年4月に発生したキノコにより枯れた枝No.4の西側の面では、キノコがやや生長している(右下3箇所)。</p>	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-3
	撮影日	R1.11.5
	<p>平成27年4月18日移植個体の生育確認(樹木活力度調査)及び管理</p> <p>移植木の全景 黄葉と落葉が進んでいる。</p>	






	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-4
	撮影日	R1.11.5
	<p>平成27年4月18日移植個体の生育確認(樹木活力度調査)及び管理</p> <p>No.4の枝について 平成29年4月に発生したキノコにより枯れた枝の西側の面では、先月よりもキノコが生長している(右下3箇所)。</p>	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-5
	撮影日	R1.11.5
	<p>平成27年4月18日移植個体の生育確認(樹木活力度調査)及び管理</p> <p>No.5の枝について 西側に発生したキノコ(平成30年8月発生)は、先月と比べてその生長に変化は見られない。</p>	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-6
	撮影日	R1.11.5
	<p>平成27年4月18日移植個体の生育確認(樹木活力度調査)及び管理</p> <p>No.6の枝について 東側に発生したキノコ(平成30年9月発生)は、落葉によりこれまで葉に隠れて見えなかった新たなキノコが確認された(黄色の円内)。</p>	




	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-7
	撮影日	R1.10.7
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個体) 個体No.③ 樹高112.0cm、根元直径16mm  樹高もさらに伸び、根元直径も 太くなっている。枝張りは一部 ネットからはみ出す勢いであ る。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-8
	撮影日	R1.10.7
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個体) 個体No.⑤ 樹高178.0cm、根元直径21mm  樹高もさらに伸び、ネット高を 超えている。根元直径も太くな り、枝張りは一部ネットからは み出す勢いである。葉の形状 からシラカンバの可能性が高 い。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-9
	撮影日	R1.10.7
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個体) 個体No.⑦ 樹高135.0cm、株立ち(根元直 径20mm、18mm、13mm)  樹高と根元直径に変化は無い が、枝張りはネットからはみ出 す勢いである。	



	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-10
	撮影日	R1.10.7
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理  個体No.④ 樹高30.0cm、根元直径11mm  樹高は変わらないが根元直径 が太くなっている。黄葉が始まり、冬芽を形成している。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-11
	撮影日	R1.10.7
	平成28年4月18日播種個体の 生育確認及び管理  個体No.① 樹高44.0cm、根元直径12mm  樹高、根元直径に変化はない。 黄葉が始まり、冬芽を形成して いる。葉の形状からシラカンバ の可能性が高い。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-12
	撮影日	R1.10.7
	平成29年4月21日播種個体の 生育確認及び管理  個体No.① 樹高38.0cm、根元直径11mm  根元直径が太くなった。黄葉が 始まり、冬芽を形成している。 葉の形状からシラカンバの可 能性が高い。	




	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-13
	撮影日	R1.10.7
	<p>平成30年4月10日播種個体の生育確認及び管理</p> <p>No.1～16</p> <p>樹高12.0cm～27.0cm</p> <p>各個体で樹高に大きな変化はない。黄葉が始まり、冬芽を形成している。</p>	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-14
	撮影日	R1.10.7
	<p>平成30年4月10日播種個体の生育確認及び管理</p> <p>No.17～30</p> <p>樹高14.0cm～23.5cm</p> <p>各個体で樹高に大きな変化はない。黄葉が始まり、冬芽を形成している。</p>	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-15
	撮影日	R1.11.5
	<p>平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理(植樹個体)</p> <p>個体No.③</p> <p>樹高116.0cm、根元直径16mm</p> <p>樹高がさらに伸びた。ほぼ落葉したが、冬芽を形成している。</p>	



	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-16
	撮影日	R1.11.5
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個体) 個体No.⑤ 樹高178.0cm、根元直径21mm  樹高と根元直径に変化は無 い。落葉が始まり、冬芽を形成 している。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-17
	撮影日	R1.11.5
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理(植樹個体) 個体No.⑦ 樹高135.0cm、株立ち(根元直 径20mm、18mm、13mm)  樹高と根元直径に変化は無 い。ほぼ落葉し、冬芽を形成し ている。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-18
	撮影日	R1.11.5
	平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理 個体No.④ 樹高30.0cm、根元直径11mm  樹高と根元直径に変化は無 い。落葉し、冬芽あり。	

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-19
	撮影日	R1.11.5
	<p>平成28年4月18日播種個体の 生育確認及び管理</p> <p>個体No.① 樹高42.0cm、根元直径12mm</p> <p>樹高は落葉のため2cm低くなっ たが、根元直径に変化はない。 ほぼ落葉し、冬芽あり。葉の形 状からシラカンバの可能性が 高い。</p>	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-20
	撮影日	R1.11.5
	<p>平成29年4月21日播種個体の 生育確認及び管理</p> <p>個体No.① 樹高38.0cm、根元直径12mm</p> <p>根元直径が太くなった。ほぼ落 葉し、冬芽あり。葉の形状から シラカンバの可能性が高い。</p>	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-21
	撮影日	R1.11.5
	<p>平成30年4月10日播種個体 の生育確認及び管理</p> <p>No.1～16</p> <p>樹高14.0cm～27.0cm</p> <p>各個体で樹高に大きな変化 はない。落葉し、冬芽あり。</p>	



	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-22
	撮影日	R1.11.5
	平成30年4月10日播種個体の 生育確認及び管理 No.17～30 樹高14.0cm～23.5cm 各個体で樹高に大きな変化 はない。落葉し、冬芽あり。	

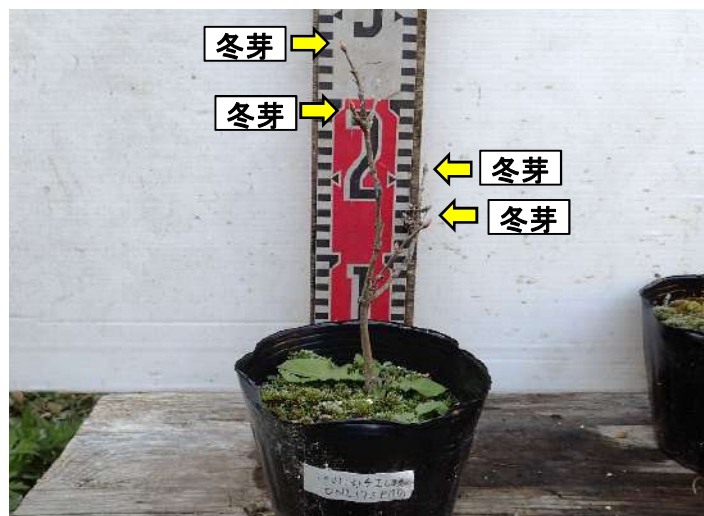
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-1
	撮影日	R1.10.7
	平成29年6月29日播種個体の 育苗状況確認(ポット)  個体No.③ 樹高6.0cm、根元直径3mm  樹高、根元直径に変化はない。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-2
	撮影日	R1.10.7
	平成29年3月14日挿し木個体の 育苗状況確認(発根促進剤 使用)  個体No.⑰ 樹高20.5cm、根元直径6mm  落葉し、冬芽を形成している。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-3
	撮影日	R1.10.7
	平成31年3月8日挿し木個体の 育苗状況確認(発根促進剤 使用)  発根まで半日陰で発根後に日 向で育苗(駄温鉢平鉢とポリ ポットごとに鹿沼土、赤玉土、 赤玉土+腐葉土で育苗) 18本中の3本が生存。うち2本 に葉があり、2本が冬芽を形成 している。	



保 全 対象種	オニヒョウタンボク
写 真 番 号	オニ-4
撮影日	R1.10.7
平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)	
挿し木から発根後まで日向で育苗(駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗) 18本全てに冬芽の形成も見られず枯死したと思われる。日照条件の違いにより活着しなかったことが考えられる。	



保 全 対象種	オニヒョウタンボク
写 真 番 号	オニ-5
撮影日	R1.11.5
平成29年6月29日播種個体の育苗状況確認(ポット)	
個体No.③ 樹高6.0cm、根元直径3mm 樹高、根元直径に変化は無い。 冬芽あり。	






保 全 対象種	オニヒョウタンボク
写 真 番 号	オニ-6
撮影日	R1.11.5
平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)	
個体No.⑰ 樹高20.5cm、根元直径6mm 樹高、根元直径に変化は無い。落葉し、冬芽あり。	



	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-7
	撮影日	R1.11.5
	<p>平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)</p> <p>発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗) 18本中、生存していた3本は落葉。うち2本には冬芽があるが、1本は冬芽が無く枯死した可能性あり。</p>	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-8
	撮影日	R1.11.5
	<p>平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)</p> <p>挿し木から発根後まで日向で育苗(駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗) 18本全てに冬芽の形成も見られず枯死したと思われる。日照条件の違いにより活着しなかったことが考えられる。</p>	

	保 全 対象種	ナガミノツルキケマン
	写 真 番 号	ナガ-1
	撮影日	R1.10.21
	ナガミノツルキケマン移植先の 生育状況確認  台風19号の影響により、移植 地に少量の土砂が流入したが (矢印部分)、ナガミノツルキケ マンへの影響は軽微と思われ る。	
	保 全 対象種	ナガミノツルキケマン
	写 真 番 号	ナガ-2
	撮影日	R1.10.21
	ナガミノツルキケマン移植先の 生育状況確認  旺盛に開花しており、生育状 況に異常は見られない。 粉じん等の堆積も見られな い。	
	保 全 対象種	ナガミノツルキケマン
	写 真 番 号	ナガ-3
	撮影日	R1.10.21
	ナガミノツルキケマン移植先の 生育状況確認  種子も多数見られ、粉じん等 の堆積も見られない。	






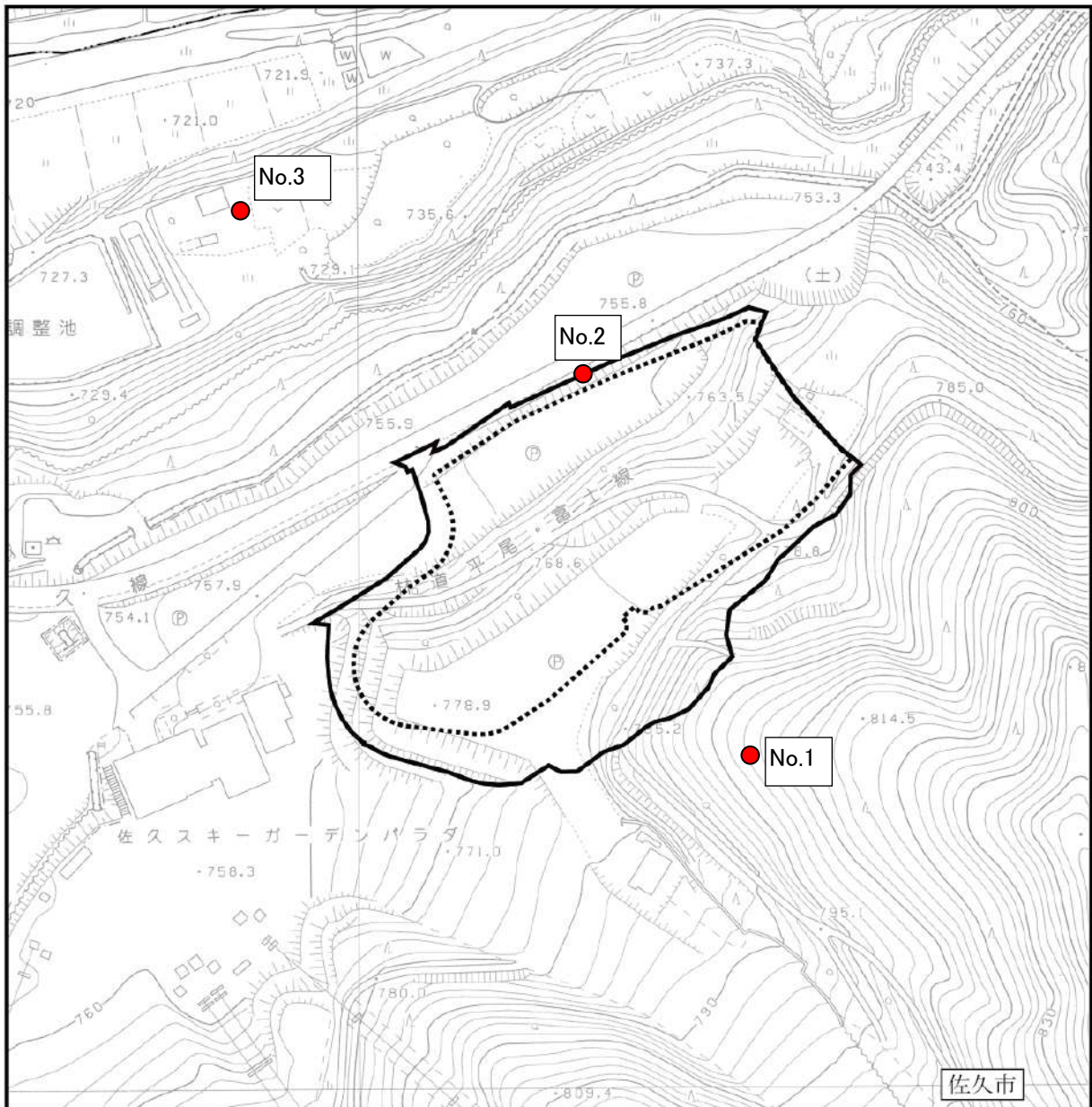
	保 全 対象種	キクタニギク
	写 真 番 号	キク-1
	撮影日	R1.10.21
	<b>生育個体の生育状況調査</b> 対象事業実施区域の直近(対象事業実施区域の北側に面した駐車場脇)に新たに1個体の生育を確認した(黄色の円内)。	
	保 全 対象種	キクタニギク
	写 真 番 号	キク-2
	撮影日	R1.10.21
	<b>生育個体の生育状況調査</b> 対象事業実施区域の直近(対象事業実施区域の北側に面した駐車場脇)に生育しているキクタニギク。旺盛に開花し、生育状況に異常は無く、粉じん等の堆積も見られない。	
	保 全 対象種	キクタニギク
	写 真 番 号	キク-3
	撮影日	R1.10.21
	<b>生育個体の生育状況調査</b> これまで事後調査を行っている対象事業実施区域外のキクタニギク(黄色の円内)。約25個体が生育している。	





保全対象種	キクタニギク
写真番号	キク-4
撮影日	R1.10.21
生育個体の生育状況調査	
旺盛に開花し、生育状況に異常は無く、粉じん等の堆積も見られない。	

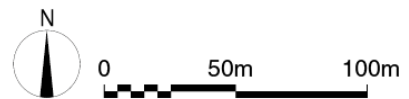
	保 全 対象種	地下水位
	写 真 番 号	チ力-1
	撮影日	R1.10.30
	地下水調査 調査実施状況 (写真は地点No.1)	
	保 全 対象種	地下水位
	写 真 番 号	チ力-2
	撮影日	R1.11.29
	地下水調査 調査実施状況 (写真は地点No.2)	
	保 全 対象種	地下水位
	写 真 番 号	チ力-3
	撮影日	R1.12.26
	地下水調査 調査実施状況 (写真は地点No.3)	



凡 例

- : 対象事業実施区域
- : 計画施設用地
- : 地下水位調査地点

----- : 市町界



地下水位調査地点



平成31年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表  
 対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【平成31年4月～令和1年11月】

【措置項目】成木の移植

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月		
平成27年4月18日に対象事業実施区域内より対象事業実施区域外へ移植を行い、以降、生育状況のモニタリングを実施。									/		
	樹高12.2m(昨年12.0m)、胸高直径44.0cm(昨年41.0cm)、枝張り5.5m(昨年5.5m)であり、樹高と胸高直径が昨年より増えている。なお、発生しているキノコに生長などの変化は見られない。	展葉したが一部の枝が枯れている。キノコにはまだ目立った生長は見られない。	十分に展葉したが一部の枝が枯れ、葉の量が少ない。キノコにはまだ目立った生長は見られない。	十分に展葉したが一部の枝が枯れ、葉の量が少ない。キノコにはやや生長した様子が見られる。	十分に展葉している。一部の枝の枯れ、葉の量が少ない状況は前月と同様。キノコには一部にやや生長した様子が見られる。	十分に展葉している。一部の枝の枯れ、葉の量が少ない状況は前月と同様。一部に新たに発生したキノコが見られる。	一番下の枝が枯れ、葉の量が少ない。他の枝は十分に展葉しているが、一部の枝に枯れた小枝が確認された。黄葉が始まる。	黄葉と落葉が進んでいる。			
	撮影日:4月22日	撮影日:5月16日	撮影日:6月7日	撮影日:7月12日	撮影日:8月16日	撮影日:9月3日	撮影日:10月7日	撮影日:11月5日			

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月		
平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。									/		
	個体No.③ 樹高51.5cm、根元直径10mm 出葉はまだ見られない。	個体No.③ 樹高51.5cm、根元直径10mm 展葉した。	個体No.③ 樹高51.5cm、根元直径10mm 十分に展葉した。	個体No.③ 樹高78.0cm、根元直径12mm 十分に展葉し、樹高も伸び、根元直径も太くなっている。	個体No.③ 樹高101.0cm、根元直径12mm 十分に展葉し、樹高もさらに伸びている。枝張りも一部ネットからはみ出す勢い。	個体No.③ 樹高110.0cm、根元直径15mm 樹高もさらに伸び、根元直径も太くなっている。枝張りも一部ネットからはみ出す勢い。	個体No.③ 樹高112.0cm、根元直径16mm 樹高もさらに伸び、根元直径も太くなっている。枝張りも一部ネットからはみ出す勢い。	個体No.③ 樹高116.0cm、根元直径16mm 樹高がさらに伸びた。ほぼ落葉したが、冬芽を形成している。			
	撮影日:4月22日	撮影日:5月16日	撮影日:6月7日	撮影日:7月12日	撮影日:8月16日	撮影日:9月3日	撮影日:10月7日	撮影日:11月5日			

【措置項目】幼木の育苗









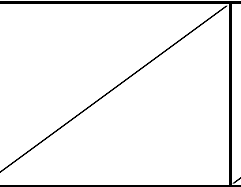
事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月		
平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。									/		
	個体No.⑤ 樹高42cm、根元直径9mm 出葉始まる。	個体No.⑤ 樹高42cm、根元直径10mm 展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	個体No.⑤ 樹高58cm、根元直径10mm 十分に展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	個体No.⑤ 樹高90.0cm、根元直径12mm 十分に展葉し、樹高も伸び、根元直径も太くなっている。シラカンバの可能性が高い。	個体No.⑤ 樹高135.0cm、根元直径15mm。樹高もさらに伸び、根元直径も太くなっている。枝張りも一部ネットからはみ出す勢い。シラカンバの可能性が高い。	個体No.⑤ 樹高164.0cm、根元直径17mm。樹高もネット高を超えた。根元直径も太くなり、枝張りも一部ネットからはみ出す勢い。シラカンバの可能性が高い。	個体No.⑤ 樹高178.0cm、根元直径21mm。樹高もネット高を超えた。根元直径も太くなり、枝張りも一部ネットからはみ出す勢い。シラカンバの可能性が高い。	個体No.⑤ 樹高178.0cm、根元直径21mm 樹高と根元直径に変化は無い。落葉が始まり、冬芽を形成。シラカンバの可能性が高い。			
	撮影日:4月22日	撮影日:5月16日	撮影日:6月7日	撮影日:7月12日	撮影日:8月16日	撮影日:9月3日	撮影日:10月7日	撮影日:11月5日			











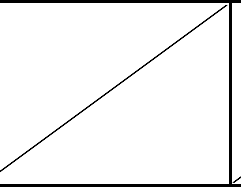
平成31年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表  
 対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【平成31年4月～令和1年11月】









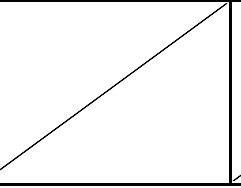
【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月						
平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。										(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)					
	個体No.⑦ 樹高54cm、株立ち(根元直径14mm、11mm、7mm)出葉はまだ見られない。	個体No.⑦ 樹高56cm、株立ち(根元直径14mm、11mm、7mm)展葉した。	個体No.⑦ 樹高65cm、株立ち(根元直径14mm、11mm、7mm)十分に展葉した。	個体No.⑦ 樹高101.0cm、株立ち(根元直径17mm、15mm、10mm)十分に展葉し、樹高も伸び、根元直径も太くなっている。枝張りもネットからはみ出す勢い。	個体No.⑦ 樹高124.0cm、株立ち(根元直径19mm、17mm、12mm)樹高もさらに伸び、根元直径も太くなっている。枝張りもネットからはみ出す勢い。	個体No.⑦ 樹高138.0cm、株立ち(根元直径20mm、18mm、13mm)樹高もさらに伸び、根元直径も太くなっている。枝張りも広がり、ネットからはみ出す勢い。	個体No.⑦ 樹高135.0cm、株立ち(根元直径20mm、18mm、13mm)樹高と根元直径に変化は無いが、枝張りはネットからはみ出す勢い。	個体No.⑦ 樹高135.0cm、株立ち(根元直径20mm、18mm、13mm)樹高と根元直径に変化は無い。ほぼ落葉し、冬芽を形成している。	撮影日:4月22日				撮影日:5月16日	撮影日:6月7日	撮影日:7月12日

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月						
平成27年4月23日に播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。										(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)					
	個体No.④ 樹高26cm、根元直径7mm出葉はまだ見られない。	個体No.④(左側) 樹高26.5cm、根元直径7mm展葉した。	個体No.④(左側) 樹高26.5cm、根元直径8mm十分に展葉した。	個体No.④(左側) 樹高27.0cm、根元直径8mm十分に展葉した。	個体No.④ 樹高30.0cm、根元直径8mm樹高もさらに伸びている。	個体No.④ 樹高30.0cm、根元直径10mm根元直径も太くなっている。	個体No.④ 樹高30.0cm、根元直径11mm樹高は変わらないが根元直径が太くなっている。黄葉が始まり、冬芽を形成。	個体No.④ 樹高30.0cm、根元直径11mm樹高と根元直径に変化は無い。落葉し、冬芽あり。	撮影日:4月22日				撮影日:5月16日	撮影日:6月11日	撮影日:7月12日

【措置項目】幼木の育苗









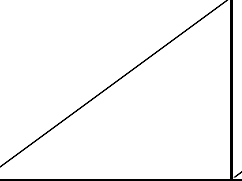
事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月						
平成28年4月18日に播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。										(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)					
	個体No.① 樹高33cm、根元直径8mm出葉始まる。	個体No.①(中央) 樹高34cm、根元直径8mm展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	個体No.①(中央) 樹高36cm、根元直径10mm十分に展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	個体No.①(中央) 樹高41.0cm、根元直径11mm十分に展葉し、樹高も伸び、根元直径も太くなった。シラカンバの可能性が高い。	個体No.①(中央) 樹高44.0cm、根元直径12mm樹高もさらに伸び、根元直径も太くなった。シラカンバの可能性が高い。	個体No.①(中央) 樹高44.0cm、根元直径12mm樹高、根元直径に変化はない。シラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高44.0cm、根元直径12mm樹高、根元直径に変化はない。黄葉が始まり、冬芽を形成。シラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高42.0cm、根元直径12mm。樹高は落葉で2cm低くなったが根元直径に変化なし。ほぼ落葉し、冬芽あり。シラカンバの可能性が高い。	撮影日:4月22日				撮影日:5月16日	撮影日:6月11日	撮影日:7月12日




平成31年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表  
 対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【平成31年4月～令和1年11月】









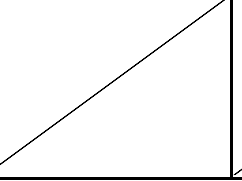
【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月
平成29年4月21日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。									
個体No.① 樹高28.5cm、根元直径7mm 出葉始まる。	個体No.① 樹高29cm、根元直径7mm 展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高31cm、根元直径7mm 十分に展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高33.5cm、根元直径7mm 十分に展葉し、樹高もやや伸びた。シラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高37.0cm、根元直径8mm 樹高もさらに伸び、根元直径も太くなった。シラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高38.0cm、根元直径10mm 樹高もさらに伸び、根元直径も太くなった。シラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高38.0cm、根元直径11mm 根元直径が太くなった。黄葉が始まり、冬芽を形成。シラカンバの可能性が高い。	個体No.① 樹高38.0cm、根元直径12mm 根元直径が太くなった。ほぼ落葉し、冬芽あり。シラカンバの可能性が高い。	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)	
撮影日:4月22日	撮影日:5月16日	撮影日:6月11日	撮影日:7月12日	撮影日:8月16日	撮影日:9月3日	撮影日:10月7日	撮影日:11月5日		

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月
平成30年4月10日に床蒔きし、以降、生育状況のモニタリングを実施。									
床蒔き 発芽個体(実生)消失	床蒔き 実生が消失したため生育確認を中止。								
撮影日:4月22日									

【措置項目】幼木の育苗



事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月
平成30年4月10日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。									
プランター蒔き 出葉はまだ見られない。この後、プランターからポットへ植え替えを行う(1ポットに幼木5本ずつ、計30ポット幼木150本)。	樹高2.5cm～7.5cm、根元直径1mm 展葉した。	樹高5.5cm～11.5cm 順調に生育している。	樹高8.5cm～16.5cm 順調に生育し、樹高もやや伸びた。	樹高10.0cm～23.5cm 順調に生育し、樹高も伸びている。	樹高12.0cm～26.0cm 順調に生育し、樹高も伸びている。	樹高12.0cm～27.0cm 順調に生長し、樹高も伸びている。黄葉が始まり、冬芽を形成。	樹高14.0cm～27.0cm 樹高が伸び、落葉。冬芽あり。	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)	
撮影日:4月22日	撮影日:5月16日	撮影日:6月11日	撮影日:7月12日	撮影日:8月16日	撮影日:9月3日	撮影日:10月7日	撮影日:11月5日		




平成31年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表  
 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【令和1年5月～令和1年11月】








【措置項目】成木の移植 ※成木の生育状況が順調であることからモニタリングは令和1年5月と9月に実施。

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月		
平成27年4月20日に対象事業実施区域内より対象事業実施区域外へ移植を行い、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
		全ての個体で順調に展葉して開花している。一部の個体に結実も見られる。				全ての個体で黄葉が始まる。一部の個体の葉にカビによる白斑や虫の食痕が認められる。また、フジの蔓が巻き付いている個体があったため除去した。					
		撮影日:5月16日				撮影日:9月3日					

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月		
平成27年7月15日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
		個体No.① 樹高4cm、根元直径4mm 枯死した。									
		撮影日:5月16日									

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月		
平成29年6月29日に新たに種子20個をプランターに播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
		個体No.③ 樹高5.5cm、根元直径2mm 展葉した。	個体No.③ 樹高6cm、根元直径2mm	個体No.③ 樹高6.0cm、根元直径3mm 根元直径がやや太くなる。	個体No.③ 樹高6.0cm、根元直径3mm 樹高、根元直径に変化はない。	個体No.③ 樹高6.0cm、根元直径3mm 樹高、根元直径に変化はない。	個体No.③ 樹高6.0cm、根元直径3mm 樹高、根元直径に変化はない。	個体No.③ 樹高6.0cm、根元直径3mm 樹高、根元直径に変化はない。			
		撮影日:5月16日	撮影日:6月11日	撮影日:7月12日	撮影日:8月16日	撮影日:9月3日	撮影日:10月7日	撮影日:11月5日			

平成31年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表  
 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【令和1年5月～令和1年11月】

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月
平成29年3月14日に20本を挿し木し(発根促進剤使用)、以降、生育状況のモニタリングを実施。									
		個体No.⑪ 枯死した。 撮影日:5月16日							

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月
平成29年3月14日に20本を挿し木し(発根促進剤使用)、以降、生育状況のモニタリングを実施。									
		個体No.⑰ 樹高21cm、根元直径6mm 5月9日に開花して展葉した。 撮影日:5月16日	個体No.⑰ 樹高21.5cm、根元直径6mm 撮影日:6月11日	個体No.⑰ 樹高23.0cm、根元直径6mm 撮影日:7月12日	個体No.⑰ 樹高23.0cm、根元直径6mm 樹高、根元直径に変化はない。葉の一部が枯れている。 撮影日:8月16日	個体No.⑰ 樹高23.0cm、根元直径6mm 樹高、根元直径に変化はない。葉の一部が枯れている。 撮影日:9月3日	個体No.⑰ 樹高20.5cm、根元直径6mm 落葉し、冬芽を形成している。 撮影日:10月7日	個体No.⑰ 樹高20.5cm、根元直径6mm 樹高、根元直径に変化はない。落葉し、冬芽あり(矢印部分)。 撮影日:11月5日	

【措置項目】個体の生育確認及び管理






事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月
平成31年3月8日に18本を挿し木(発根促進剤使用)。 <挿し木条件> 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗)									
		18本中の16本で展葉あり。 撮影日:5月16日	18本中の6本で葉あり。 撮影日:6月11日	18本中の4本で葉あり。 撮影日:7月12日	18本中の4本で葉あり。 撮影日:8月16日	18本中の4本で葉あり。 撮影日:9月3日	18本中の3本が生存。うち2本に葉があり、2本が冬芽を形成している。 撮影日:10月7日	18本中、生存していた3本は落葉。うち2本には冬芽があるが、1本は冬芽が無く枯死した可能性あり(中央の矢印)。 撮影日:11月5日	



平成31年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表  
 対象種【オニヒョウタンボク】

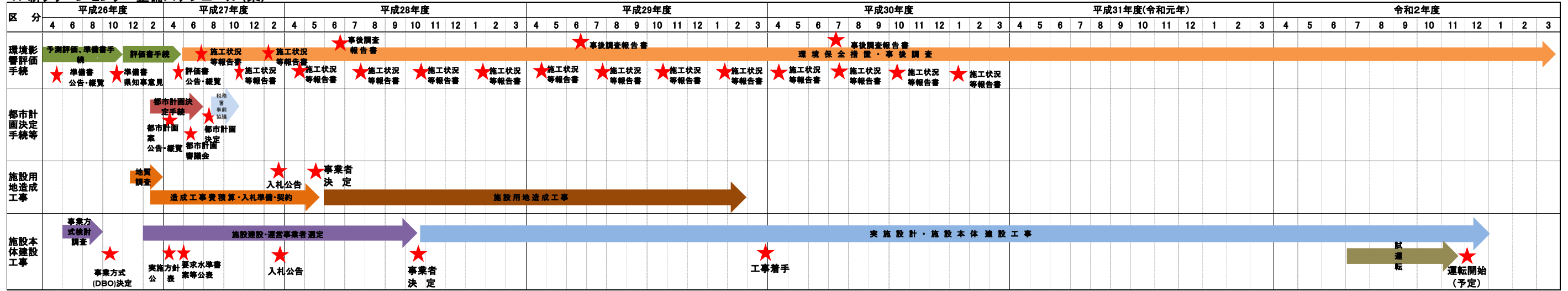
対象期間【令和1年5月～令和1年11月】

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月～令和2年3月		
平成31年3月8日に18本を挿し木(発根促進剤使用)。 <挿し木条件> 挿し木から発根後まで日向で育苗(駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗)											
		18本中の11本で展葉あり。	18本中の1本で葉あり。	18本全てで葉が無くなる。	18本全てで葉が無くなる。	18本全てで葉が無くなる。	18本全てで葉が無くなる。	18本全てに冬芽の形成も見られず枯死したと思われる。日照条件の違いにより活着しなかったことが考えられる。	18本全てに冬芽の形成も見られず枯死したと思われる。日照条件の違いにより活着しなかったことが考えられる。	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)	
		撮影日:5月16日	撮影日:6月11日	撮影日:7月12日	撮影日:8月16日	撮影日:9月3日	撮影日:10月7日	撮影日:11月5日			

◆施工状況等報告書添付資料「対象事業の実施状況一覧表」

1. 新クリーンセンター整備スケジュール(案)



2. 対象事業の実施状況一覧

年度	平成27年度				平成28年度				平成29年度			
回数	第1回報告	第2回報告	第3回報告	第4回報告	第5回報告	第6回報告	第7回報告	第8回報告	第9回報告	第10回報告	第11回報告	第12回報告
報告対象期	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
実施状況	<p>現在、造成工事等については、未着手である。</p> <p>【都市計画決定手続】平成27年7月8日付けで本事業に係る都市計画が決定。</p> <p>【敷地造成工事】造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。</p>	<p>現在、造成工事等については、未着手である。</p> <p>【用地取得に係る税務署事前協議】平成27年8月19日付けで本事業に係る用地取得のための税務署事前協議を開始。</p> <p>【敷地造成工事】造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。</p>	<p>現在、造成工事等については、未着手である。</p> <p>【用地取得関係】平成27年11月26日付けで本事業に係る用地取得のための税務署事前協議が完了。法人及び個人地権者と用地取得に係る契約を締結し、用地取得手続が概ね完了している。</p> <p>【敷地造成工事】造成工事費の積算を行い、精査を実施している。</p>	<p>現在、造成工事等については、未着手である。</p> <p>【敷地造成工事】平成28年3月14日付で入札公告、同3月30日に入札が行われた。残土運搬先について、該当する個人地権者へ説明。一部から了承を得られた。</p> <p>【施設本体建設工事】平成28年3月14日付で入札公告、参加表明締結を同4月28日に予定している。</p>	<p>平成28年6月6日、敷地造成工事に着手した。同日付で「対象事業着手報告書」を県へ提出した。</p> <p>【敷地造成工事】6月は準備工として、敷地内の伐採と測量作業を行った。</p> <p>【施設本体建設工事】平成28年4月28日付で入札参加表明を締結し、同6月27日付で提案書の提出を受けた。</p>	<p>建設予定地では、敷地造成工事が行われている。</p> <p>【敷地造成工事】敷地の掘削を開始した。管渠工事が完了した。</p> <p>【施設本体建設工事】平成28年8月9日に開札及び総合評価を実施した。同9月1日、落札者決定について公表した。</p>	<p>建設予定地では、敷地造成工事が行われている。</p> <p>【敷地造成工事】掘削が続いている。</p> <p>【施設本体建設工事】平成28年10月25日建設請負契約を締結。実施設計協議を開始した。</p>	<p>建設予定地では、敷地造成工事が行われている。</p> <p>【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の地盤改良の準備を進め、開始した。</p> <p>【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。</p>	<p>建設予定地では、敷地造成工事が行われている。</p> <p>【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の地盤改良を終え、擁壁本体の施工に着手した。</p> <p>【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。</p> <p>【植栽工事】隣接地との境界へ植栽を開始した。</p>	<p>建設予定地では、敷地造成工事が行われている。</p> <p>【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の一部が、最上段まで積み上がった。ブロック積工及び法面工に着手した。</p> <p>【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。</p> <p>【植栽工事】隣接地との境界への植栽が完了した。</p>	<p>建設予定地では、敷地造成工事が行われている。</p> <p>【敷地造成工事】テールアルメ擁壁が完成し、敷地造成工事は、わずかな排水路工事を残すのみとなった。</p> <p>【施設本体建設工事】実施設計が完了した。平成29年12月8日に行った建築確認の申請について、平成30年1月31日に手続きが完了した。公害防止関係、廃棄物の処理及び清掃に関する法律関係の届出等、監督官公庁への手続きが完了した。平成30年3月27日より山留工事に着手した。</p>	<p>建設予定地では、敷地造成工事が行われている。</p> <p>【敷地造成工事】敷地造成工事は完了した。</p> <p>【施設本体建設工事】実施設計が完了した。平成29年12月8日に行った建築確認の申請について、平成30年1月31日に手続きが完了した。公害防止関係、廃棄物の処理及び清掃に関する法律関係の届出等、監督官公庁への手続きが完了した。平成30年3月27日より山留工事に着手した。</p>
年度	平成30年度				平成31年度(令和元年)				令和2年度			
回数	第13回報告	第14回報告	第15回報告	第16回報告	第17回報告	第18回報告	第19回報告	第20回報告	第21回報告	第22回報告	第23回報告	第24回報告
報告対象期	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
実施状況	<p>建設地では、施設本体建設工事が行われている。</p> <p>【施設本体建設工事】5月より杭工事に着手した。5月末よりごみピット掘削工事に着手した。6月末より工場棟(一部)基礎根切掘削工事に着手した。</p> <p>【法面保護工事】敷地法面の植生工事に着手した。</p>	<p>建設地では、施設本体建設工事が行われている。</p> <p>【施設本体建設工事】杭工事、山留工事、ごみピット掘削工事が完了した。工場棟一階の躯体工事に着手した。</p> <p>【法面保護工事】9月末に法面保護工事が完了した。</p>	<p>建設地では、施設本体建設工事が行われている。</p> <p>【施設本体建設工事】プラント架構の建て方工事に着手した。</p>	<p>建設地では、施設本体建設工事が行われている。</p> <p>【施設本体建設工事】事務所棟基礎工事に着手した。</p>	<p>建設地では、施設本体建設工事が行われている。</p> <p>【施設本体建設工事】事務所棟の基礎工事、工場棟の建築工事、プラント機械の設置工事をしています。</p>	<p>建設地では、施設本体建設工事が行われている。</p> <p>【施設本体建設工事】事務所棟の鉄骨工事、工場棟の建築工事、プラント機械の設置工事をしています。</p>	<p>建設地では、施設本体建設工事が行われている。</p> <p>【施設本体建設工事】事務所棟の屋根、外壁工事、工場棟の躯体、外壁、設備工事、プラント機械の設置工事をしています。</p>					



施工状況(10月～12月)

実施月	実施状況	写真
10月	<p><b>【工場棟工事】</b>                      B工区は、4階床までのコンクリート打設が終了し、4階柱・壁の工事を進めています。                      C工区は、プラント機械・ダクトの組立工事、ボイラの耐火工事、保温工事を継続して行い、電気計装工事を開始しました。                      D工区は、煙突の鉄骨工事が終了し、内筒工事が始まりしました。また、外壁工事を継続して工事を行っています。                      E工区は、プラント機械の組立工事を継続して行い、配管工事、外壁工事を開始しました。</p> <p><b>【事務所棟工事】</b>                      鉄骨工事、2階床・屋上階床のコンクリート工事をを行いました。</p>	
11月	<p><b>【工場棟工事】</b>                      B工区は、最上階となる4階の躯体工事を進めるとともに、下層階ではプラント機械の据付け、ダクトの組立工事を行っています。また、1階の受変電室・2階の居室では電気設備工事を開始しました。                      C、D、E工区は、外壁工事が概ね終了し、屋根工事を開始しました。また、プラント機械・ダクトの組立工事、ボイラの耐火工事、保温工事、電気計装工事など継続して行っています。</p> <p><b>【事務所棟工事】</b>                      屋根の鉄骨工事を終了し、外壁工事を開始しました。</p>	
12月	<p><b>【工場棟工事】</b>                      B工区は、最上階までのコンクリート打設を終了し、各階の居室の建具・内装工事 給排水や空調、電気などの設備工事を行っています。                      C、D、E工区では、プラント機械・ダクトの組立工事、保温工事、配管工事、電気計装工事など継続して行っています。                      D、E工区で外壁の塗装工事を開始しました。</p> <p><b>【事務所棟工事】</b>                      外壁工事、屋根工事が概ね終了し、建具・内装工事、設備工事を開始しました。</p>	

◆施設建設工事中の施工業者による環境保全措置実施状況

調査年月日:2019年10月1日～12月31日

	調査対象事項	関連項目	環境保全措置の内容	実施状況			添付書類
				10月	11月	12月	
工事関係車両の走行	1 走行時間の分散	大気質、騒音、振動、 触れ合い活動の場	工事関係車両の走行が集中しないよう走行の時期・時間の分散に努める。 特に朝の通学時間帯は極力避けるように配慮する。	○	○	○	写真1 参考資料1(非公開)
	2 交通規制等の遵守	大気質、騒音、振動、 触れ合い活動の場	工事関係車両は、速度や積載量等の交通規制及び指定走行ルート、 標示規制等を遵守するよう指導する。	○	○	○	写真1 参考資料1(非公開)
	3 アイドリングストップ・エコドライブの励行	大気質	工事関係車両のアイドリングストップ・エコドライブを徹底する。	○	○	○	写真1
	4 土砂運搬車両等のタイヤ洗浄	大気質	建設地から退出する工事関係車両等の洗車を適宜実施する。	-	-	-	-
	5 工事車両出入り口の路面洗浄等	大気質	建設中の構内道路への散水や鉄板の敷設等を行う。	○	○	○	写真2
	6 土砂搬出車両荷台のシート掛け	大気質	土砂を搬出入する場合は車両荷台へのシートの敷設を行う。	-	-	-	-
	7 交通整理員の配置	触れ合い活動の場	スキー場の営業期間中については、必要に応じて交通整理員を配置 するなど、出入口付近での車両の交錯を防止する。	○	○	○	写真3
	8 北パラダを利用する一般車両への配慮	触れ合い活動の場	スキー場の営業期間中については、来場者が多くなる土・日曜日の 工事関係車両の走行を避けるように努める。	○	○	○	写真1 参考資料1(非公開)
建設機械の稼働	1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)	大気質、騒音、振動、 動物、生態系、 触れ合い活動の場	建設機械は、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型の使用や低騒 音型・低振動型工法の採用に努める。	○	○	○	写真4～8 参考資料1(非公開)
	2 建設機械稼働時間の抑制	大気質	建設機械は、アイドリングストップを徹底する。	○	○	○	写真9
	3 建設機械稼働時間の分散	騒音、振動、 触れ合い活動の場	建設機械の稼働台数が集中しないよう工事の時期・時間の分散に努 める。	○	○	○	写真9 参考資料1(非公開)

※実施状況欄 ○:実施 ー:実施不要のため未実施



調査対象事項		関連項目	環境保全措置の内容	実施状況			添付書類
				10月	11月	12月	
建設機械の稼働	工事区域の仮囲い・遮音壁の設置	大気質、騒音	建設地周辺へ工事用仮囲いを設置する。 必要に応じて対象事業実施区域境界に遮音壁を設置する。	○	○	○	写真10
	工事区域への散水等	大気質、植物、生態系	建設中の構内道路への散水や鉄板の敷設等を行う。 散水を実施することで、粉じんの発生を防止し、周辺に生育する植物への影響を低減する。	○	○	○	写真11
土地造成、掘削、樹木の伐採	安全な掘削方法の検討	地形・地質	掘削工法の検討に当たっては、土地の安定性に十分に配慮する。	造成・掘削工事時 実施済み			—
	計画・設計時の配慮	地形・地質	施設計画において、安定計算の実施、マニュアル等に基づく適切な設計、浸食防止排水溝の設置等を行う。	計画時実施済み			—
		地形・地質	切土工事に際し、仮排水路への排水ができるようにし、沈砂池に集水して濁水の土砂を沈殿させてから放水する。	計画時実施済み			—
		触れ合い活動の場	パラダの営業期間中の工事については、事業者と十分な協議を行い、スキー客への影響が極力小さくなるよう配慮する。	○	○	○	参考資料1(非公開)
	工事計画の配慮	水質	段階的な切盛り工事の実施などの工事計画の検討により一時的な広範囲の裸地化を抑制する。	計画時実施済み			—
	工事区域外からの流入抑制	水質	工事区域の外周に仮設の雨水排水路を設置し、工事区域外からの雨水の流入を抑制し、濁水の発生量を低減する。	○	○	○	写真12
	造成工事の休止	水質	台風、集中豪雨等が予想される場合には、造成工事を行わない。	造成工事時 実施済み			—
	造成面等からの濁水発生対策	水質	台風、集中豪雨等が予想される場合には、造成面、仮置き残土等へのシート、土嚢による養生等の対策を講じる。	造成・掘削工事時 実施済み			—
	沈砂池等の設置、維持管理	水質	十分な貯留容量を有する沈砂池を設置し、雨水を一時的に貯留し濁水の土砂を沈殿させてから放流する。	造成・掘削工事時 実施済み			—
	雨水排水の濁りの監視	水質	降雨時には速やかに雨水排水の濁りの状況を目視により確認し、濁りが認められた場合には濁水を沈降させ、上澄みを放流する。	造成・掘削工事時 実施済み			—
	雨水排水の水温の監視	水質、植物、動物、生態系	排水温度の変化に伴う動植物への影響の可能性の観点から、放流水の水温について監視する。	○	○	○	写真13

※実施状況欄 ○：実施 —：実施不要のため未実施

調査対象事項		関連項目	環境保全措置の内容	実施状況			添付書類
				10月	11月	12月	
土地造成、掘削、樹木の伐採	12	揚水量を低減する掘削工法等の検討	水象	揚水量を低減する効果的な掘削工法等を検討する。			—
	13	止水壁等の設置による水位低下の防止	水象	止水壁を透水性の低い層まで設置する等により地下水水位低下の防止を図る。			—
	14	コナラ林の改変の回避	生態系	対象事業実施区域南側のコナラ林の改変を回避する。			—
	15	対象事業実施区域境界の林縁保護	植物、動物、生態系	○	○	○	写真14
	16	対象事業実施区域周辺で営巣が確認された場合の工期変更等	動物、生態系	—	—	—	—
	17	工事関係者への啓発(動植物等)	植物、動物、生態系	○	○	○	写真15 参考資料1(非公開)
	1	中和処理	水質	○	○	○	写真16
舗装工事・コンクリート工事	2	水素イオン濃度の監視	水質	○	○	○	写真17
	1	建設発生土の再利用	廃棄物等	掘削土砂については本事業の敷地内や他事業での再利用に努め、残土の発生を抑制する。			—
	2	公共事業等での有効利用	廃棄物等	場外搬出する残土については、他の公共事業での有効活用を図り、処分量の低減を図る(受け入れ先は組合で決定)。			—
	3	アスファルト・コンクリート塊、木くず、伐採木等の再生利用	廃棄物等	—	—	—	—
	4	現場での分別排出	廃棄物等	○	○	○	写真18
5	適正な管理(土壌)	廃棄物等	発生した廃棄物については、可能な限り現場で分別を行い排出する。 自然由来により残土が汚染されている場合もあることから、処分方法に応じた適切な搬出土の管理を行う。			—	

※実施状況欄 ○:実施 —:実施不要のため未実施



	<p style="text-align: center;">写真1</p> <p>工事関係車両の走行 No.1 走行時間の分散 No.2 交通規制等の遵守 No.3 アイドリングストップ・エコドライブの励行 No.8 北パラダを利用する 一般車両への配慮</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2019/10/8</p>
<div style="background-color: #006400; color: white; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>工事件名 平成29年度 環境型社会形成推進交付金事業補助(1)21-1-1 建設工事 工 種 環境保全10月 種 別 工事関係車両の走行 工事関係車両出入り口の路面洗浄等</p> <p>撮影年月日 _____ 施 工 者 _____</p> </div>	<p style="text-align: center;">写真2</p> <p>工事関係車両の走行 No.5 工事用車両出入り口の 路面洗浄等</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2019/10/24</p>
<div style="background-color: #006400; color: white; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>工事件名 平成29年度 環境型社会形成推進交付金事業補助(1)21-1-1 建設工事 工 種 環境保全10月 種 別 工事関係車両の走行 交通整理員の配置</p> <p>撮影年月日 _____ 施 工 者 _____</p> </div>	<p style="text-align: center;">写真3</p> <p>工事関係車両の走行 No.7 交通整理員の配置</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2019/10/22</p>

 <table border="1" data-bbox="240 501 584 745"> <tr> <td>工 事 名</td> <td>平成29年度 環境型社会形成推進交付金事業第79-2019-建設工事</td> </tr> <tr> <td>工 種</td> <td>環境保全10月</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>建設機械の稼働</td> </tr> <tr> <td colspan="2">対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)</td> </tr> <tr> <td>撮影年月日</td> <td>施 工 者</td> </tr> </table>	工 事 名	平成29年度 環境型社会形成推進交付金事業第79-2019-建設工事	工 種	環境保全10月	種 別	建設機械の稼働	対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)		撮影年月日	施 工 者	<p style="text-align: center;">写真4</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)</p> <p>ラフタークレーン 25t</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2019/10/5</p>
工 事 名	平成29年度 環境型社会形成推進交付金事業第79-2019-建設工事										
工 種	環境保全10月										
種 別	建設機械の稼働										
対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)											
撮影年月日	施 工 者										
 <table border="1" data-bbox="237 1099 580 1346"> <tr> <td>工 事 名</td> <td>平成29年度 環境型社会形成推進交付金事業第79-2019-建設工事</td> </tr> <tr> <td>工 種</td> <td>環境保全10月</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>建設機械の稼働</td> </tr> <tr> <td colspan="2">対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)</td> </tr> <tr> <td>撮影年月日</td> <td>施 工 者</td> </tr> </table>	工 事 名	平成29年度 環境型社会形成推進交付金事業第79-2019-建設工事	工 種	環境保全10月	種 別	建設機械の稼働	対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)		撮影年月日	施 工 者	<p style="text-align: center;">写真5</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)</p> <p>バックホー(0.45m<sup>3</sup>)</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2019/10/5</p>
工 事 名	平成29年度 環境型社会形成推進交付金事業第79-2019-建設工事										
工 種	環境保全10月										
種 別	建設機械の稼働										
対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)											
撮影年月日	施 工 者										
	<p style="text-align: center;">写真6</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型)</p> <p>クローラークレーン 55t</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2019/11/18</p>										

 <p><b>工事件名</b> 平成29年度 環境型社会形成推進交付金事業第19-2970-建設工事  <b>工種</b> 環境保全10月  <b>種別</b> 建設機械の稼働  <b>対策型建設機械の使用(排ガス対策型、低騒音型、低振動型)</b>  <b>撮影年月日</b>      <b>施工者</b> 株式会社 中野建設工業株式会社</p>	<p style="text-align: center;">写真7</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型)</p> <p>クローラークレーン 120t</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2019/10/5</p>
	<p style="text-align: center;">写真8</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型)</p> <p>クローラークレーン 200t</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2019/11/26</p>
	<p style="text-align: center;">写真9</p> <p>建設機械の稼働 No.2 建設機械稼働時間の抑制 No.3 建設機械の時間の分散</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2019/11/21</p>





写真10

建設機械の稼働  
No.4  
工事区域の仮囲い  
・遮音壁の設置

撮影日 2019/10/5



写真11

建設機械の稼働  
No.5  
工事区域への散水等

撮影日 2019/10/24



写真12

土地造成、掘削、樹木の伐採  
No.6  
工事区域外からの流入抑制

撮影日 2019/10/24

	<p style="text-align: center;">写真13</p> <p>土地造成、掘削、樹木の伐採 No.11 雨水排水の水温の監視 14℃</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2019/11/12</p>
	<p style="text-align: center;">写真14</p> <p>土地造成、掘削、樹木の伐採 No.15 対象事業実施区域境界 の林縁保護</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2019/10/24</p>
	<p style="text-align: center;">写真15</p> <p>土地造成、掘削、樹木の伐採 No.17 工事関係者への啓発 (動植物等)</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2019/10/8</p>





工事件名 平成20年度 福井県社会福祉推進交付金事業補助(1)中心 建設工事  
 工種 環境保全10月  
 種別 舗装工事・コンクリート工事  
 中和処理  
 撮影年月日 \_\_\_\_\_ 施工者 \_\_\_\_\_

写真16

舗装工事・コンクリート工事  
No.1  
中和処理

撮影日 2019/10/22



工事件名 平成20年度 福井県社会福祉推進交付金事業補助(1)中心 建設工事  
 工種 環境保全10月  
 種別 舗装工事・コンクリート工事  
 水素イオン濃度の監視  
 撮影年月日 \_\_\_\_\_ 施工者 \_\_\_\_\_

写真17

舗装工事・コンクリート工事  
No.2  
水素イオン濃度の監視  
PH6(環境基準8.5以内)

撮影日 2019/10/22



写真18

発生土、建設廃棄物、伐採木  
No.4  
現場での分別排出

撮影日 2019/11/5